

令和 7 年度 訪問看護研究発表会のお知らせ

寒風の候、関係機関の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、令和 7 年度訪問看護研究発表会を下記の通り開催いたします。毎年多数の方々のご参加をいただき、研究を通しての学びの大きさを実感いたします。会員同士、また市内医療・介護職・教育機関の皆様とともに日頃の訪問看護実践を共有し、質の高い訪問看護サービスについて考えたいと存じます。

お忙しい中とは存じますが、多くの皆さまからのご参加をお待ちしております。研究発表会の日程、発表演題は下記の通りです。

記

開催日時：令和 8 年 3 月 7 日（土） 13：00～16：30（受付 12：30～）

開催場所：横浜市社会福祉センター4 階ホール（住所：横浜市中区桜木町 1-1）

<申込 QR コード>

参加費： 無料

申込締切：令和 8 年 3 月 1 日（日）

申込方法：下記のアドレスまたは申込 QR コードよりお申込ください。

<https://forms.gle/QBXbigfEeBwazDRy5>



発表演題：以下のような内容を予定しております。（一部、変更の可能性あり）

【1】訪問看護支援により夫婦間の虐待が減少した 1 例 ～円環的な因果関係から夫婦の問題点を考える～
愛訪問看護ステーション戸塚 渡邊浩平 氏

【2】段階的支援がもたらした服薬行動の変化 ～注意欠如多動症の利用者を通じて～
一奈訪問看護ステーション 菊地研二 氏

【3】医療的ケア児を抱える家族とのコミュニケーションへの LINE の活用
シーガル smile 訪問看護なかやま 山本 悠 氏

【4】看護師が入り込みからバウンダリーを意識するまでの過程とその効果
訪問看護ステーション Wing 百塚加苗 氏

【5】大規模ステーションに関する調査結果 ～訪問看護ステーションの持続可能な運営を目指して～
横浜在宅看護協議会 統計委員会

【6】医療的ケア児まんなかを目指して 横浜型看看看連携 ～訪問看護・保育所看護・学校看護の協働～
横浜在宅看護協議会 小児訪問看護部会

<講評>

東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻 准教授 野口 麻衣子 先生
横浜市立大学医学部看護学科地域看護学領域 講師 伊藤 絵梨子 先生

以 上